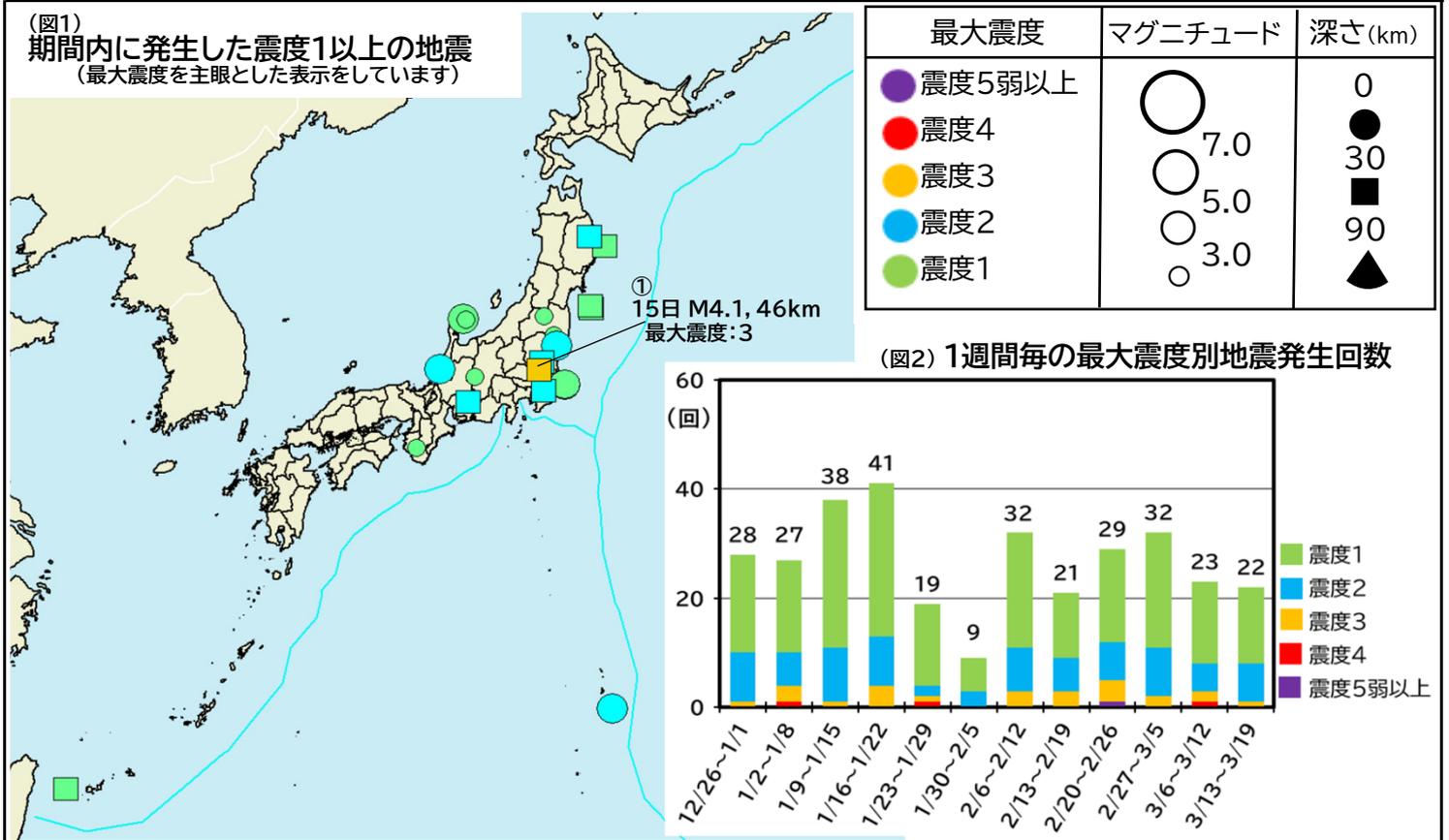


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が22回発生。最大震度は3。■
- ①3月15日06時05分に茨城県南部で発生した地震(M4.1、深さ46km)により、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県で震度3を観測したほか、福島県から関東地方にかけて福島県で震度2~1を観測。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。

トピックス

- 地震の季節性 ■
- ・このトピックスでは、その週に発生した地震についての補足情報を主としていますが、対象とするような地震の発生が無い場合、何を取り上げるか苦慮します(被害を伴うような地震がないことは良い事なのですが...)。
- ・今回も取り上げるような地震が無かったので、最近寄せられた質問に答えることとします。
- ・寄せられた質問は、「大きな地震は、冬に多く発生するのではないか?」です。
- ・このような地震の季節性については、これまで幾つかの研究報告があり、関連性を指摘するものもある一方で、関連性がありそうに見えても、その原因が究明されていないことなどから、否定的な見解も少なくありません。
- ・図3は、過去103年間に発生したM7.0以上(深さ60km以浅。余震は除外)の震央分布図で、季節ごとに色を変えたものです。一見するとピンクのマーク(春:3~5月)と赤(夏:6~8月)が目立つような感じです。色彩の影響か?
- ・図4は、月ごとの回数を示したのもので、平均からどの程度散らばっているかを示しました。月ごとの発生回数の平均は10.2回、標準偏差は2.6です。
- ・図3、図4から、季節や月ごとの地震回数に有意な差が見えるでしょうか?

